第5章 計画段階配慮事項ごとに調査、予測及び評価の結果をとりまとめたもの

5.1 計画段階配慮事項の選定

既存資料で得られた情報により、重大な影響を受けるおそれのある環境の要素について検 討し、計画段階配慮事項を選定しました。

計画段階配慮事項として選定した環境要素と選定理由は、表 5-1 に示すとおりです。

表 5-1 計画段階配慮事項の選定結果とその理由

環境要素	衣 0-1 計画技質的思事項の選及指案とての理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
環境要素	影響要因			土地又は工作物の		海中地中
環境の自然的構成 要素の良好な状態 の保持を旨として 調査、予測及び評価 動物 「生物の多様性の確保及び自然の保全を旨として 関連を発展であるため選定した。 「生物の多様性の確保及が自然を発展であるが、主要な動物種が生息している。自動 事業実施想定区域及びその周囲には、 集落・市街地等が分布している。自動 要素 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 集務・市街地等が分布している。自動 事業を発展であるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、動物のの環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存 樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及び評価されるべき 環境要素 生態系 「生態系」 「生態系」 「生態系の保全と重要であって、まとまって存在する自然環境として、 事業実施想定区域及びその周囲には、 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、 事業を施想定区域及びその周囲には、 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、 事業を施想で区域及びその周囲には、 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、 、業場や自然病岸等が分布している。 すると は成なには、景観活画」により 最後資源が分布している。また、当該地域には、景観活画」により 最後質源が分布している。また、当該地域には、景観活画」により 最後質源が分布している。また、当該地域には、景観活動に、「関門景観・神域、景観・地域、影ある」はが、北州州市及び下関市が連携して 「関門景観条例」を制定し、本条例に 同門景観条例」を制定し、本条例に	7		,,,,,		迭	
環境の自然的構成 要素の良好な状態 の保持を盲として 調査、予測及び評価されるべき環境 要素 生物の多様性の確 保及び自然の保全を盲として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 全種派 生態系 生態系 () 集落・市街地等が分布している。自動 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 集落・市街地等が分布している。自動 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な動物種が生息している。遺路の 存在に伴い、動物の選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な動物種が生息している。遺路の 存在に伴い、動物の選定した。 事業実施想定区域及でその周囲には、 重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存 樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存 樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存 樹が生育している。道路の存在に伴い、生態系の假全上重要であって、遠路の存在に伴い、生態系の選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 生態系 () 上態系の過費として、藻場や 自然溶岸等が分布している。また、当場地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市が連携して、 「関門景観条例」を制定し、本条例に 「関門景観条例」を制定し、本条例に 「関門景観条例」を制定し、本条例に	坂 現安系	I		追路の仔仕	目期単の定行	
要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境 要素 生物の多様性の確保及び自然環境の体系を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 ・ 生態系 ・ 生態系 ・ 大気質 ・ 東楽東施想定区域及びその周囲には、集落・市街地等が騒音を入びその周囲には、重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、動物への環境影響を及びすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、重要な植物群落、目標・巨木林、保存樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、、薬場では、実験であって、、薬場では、大気で変した。の関策を表している。道路の存在にない、など、表別では、大気質が表別では、などのの関値には、生態系の保全とは、表別では、大気を変した。事業実施をしている。道路の存在に伴い、も物への環境影響を及びその周囲には、集製変源が分布している。道路の存在に伴い、も態系の環境として、薬場や自然を対している。違路の存在に伴い、最親法に基づく「北九州市景観計画」、「下関形成影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観音には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関形成影響の方式、景観が表別でいる。また、当該地域には、景観法に基づく「北州市景観計画」、「下関形成影響が成地域があるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観音音には、景観音には、景観音には、音楽音には、音楽音には、音楽音には、音には、音楽音には、音楽音には、音楽音には、音楽音には、音楽音には、音楽						
要素の良好な状態 の保持を旨として 調査、予測及び評価されるべき環境 要素 動物 「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査を及び主があるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な動物種が生息している。当から存在に伴い、動物への環境影響を及ばすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ばすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ばすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、満場の存在に伴い、生態系への環境影響を及ばすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、よとまって存在する自然環境として、満場の存在に伴い、生態系への環境影響を及ばすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「下関市景観計画」、「関門景観、景観」と、「関門景観、景観」と制定し、本条例に関門景観条例」を制定し、本条例に関門景観条例」を制定し、本条例に関門景観条例」を制定し、本条例に関門景観条例」を制定して、東楽時悪素			大気質		0	
調査、予測及び評価されるべき環境 要素 「無済・一部の多様性の確保及び自然を行っている。 を表す。 生物の多様性の確保及で自然のでは、 を表すとして調査、予測及び評価されるべき関連を関係している。 は物を変している。 を表すとして調査、予測及び評価されるのでは、 の場別を表するとしている。 を表すとしている。 を表すとしている。 を表がいるのでは、 の場別を表すしている。 を表がいるのでは、 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。 を表がいる。			7 (7)(7)			
 価されるべき環境要素 騒音 集落・市街地等が分布している。自動車の走行に伴い、騒音への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、動物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業更想定区域及びその周囲には、重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、藻路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、上態系の保全上直要であって、違路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景、質源が分布している。また、当該地域には、景、質源が分布している。また、当該地域には、景、質源が分布している。また、当該地域には、景、観音源が分布している。また、当該地域には、景、観音源が分布している。また、当該地域には、景観音源が分布している。また、当該地域には、景観音源が分布している。また、当該地域には、景観音源が分布している。また、当該市域を関連を表して、事業と応見には、景観音楽をがある。また、当時市景観形成地域がある。また、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に関門景観条例。を制定し、本条例に 	·					
要素		環境				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
要素	価されるべき環境		騒音			集落・市街地等が分布している。自動
事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な動物種が生息している。道路の 存在に伴い、動物への環境影響を及ぼ すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存 樹が生育している。 道路の存在に伴い、植物への環境影響 を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 全級ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 生態系の保全上重要であって、薬とも って存在する自然環境として、適路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼ すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 生態系の保全上重要であって、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼ すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 景観資源が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼ すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 景観資源が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼ すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 景観資源が分布している。また、当該 地域には、景観計画」、「下関市景観計画」により 定められた景観形成誘導地域、景観 点整備地区、関門景観形成地域がある ほか、北九州市及び下関市が連携して 関門景観条例」を制定し、本条例に	要素		 向虫 曰			車の走行に伴い、騒音への環境影響を
動物 重要な動物種が生息している。道路の存在に伴い、動物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観を強れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素						及ぼすおそれがあるため選定した。
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 して調査、予測及び評価されるべきでは要素 生態系 と生態系 と生態系 して調査、予測及が評価されるが表しませい。 生態系 と生態系 と生態系 と生態系 して調査、で対している。 道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重なが設けるいます。 「関門景観を関門景観を関門景観を関い、北九州市及び下関市が連携して、関門景観を列」を制定し、本条例に関門景観を列」を制定し、本条例に						事業実施想定区域及びその周囲には、
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべきでは、集観法に基づく「北九州市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観面とれるがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観直要を表して調査、予測及び評価されるべき環境要素		新州加				重要な動物種が生息している。道路の
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 () 事業実施想定区域及びその周囲には、重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存樹が生育している。道路の存在に伴い、植物への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、藻場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重して調査、予測及び評価されるべき環境理素		3010		O		存在に伴い、動物への環境影響を及ぼ
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 した。 事業実施想定区域及びその周囲には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、藻場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成地域があるはか、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に関門景観条例」を制定し、本条例に						すおそれがあるため選定した。
(保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 ○	上脚の夕接州の座					事業実施想定区域及びその周囲には、
体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 生態系 () 関係などの場所には、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観音源が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるはか、北九州市及び下関市が連携して「関門景観条例」を制定し、本条例に						重要な植物群落、巨樹・巨木林、保存
して調査、予測及 び評価されるべき 環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 生態系 と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及 び評価されるべき 環境要素 「会別では、大きのでは、生態系の保全とでは、なびでは、大きのでは、生態系の保全とでは、なびでは、大きのでは、大きのでは、生態系のの環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重に、野門景観形成地域があるは、北九州市及び下関市が連携して、「関門景観条例」を制定し、本条例に 「関門景観条例」を制定し、本条例に		,,,,		\circ		樹が生育している。
び評価されるべき 環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 生態系 生態系 として、薬場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるにか、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に						道路の存在に伴い、植物への環境影響
環境要素 生態系 生態系 生態系 生態系 と主態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、藻場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるはか、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に						を及ぼすおそれがあるため選定した。
生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境として、藻場や自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるほか、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に						事業実施想定区域及びその周囲には、
生態系 自然海岸等が分布している。道路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるほか、北九州市及び下関市が連携して、関門景観条例」を制定し、本条例に	界児安糸	生態系		0		生態系の保全上重要であって、まとま
目然海岸等が分布している。直路の存在に伴い、生態系への環境影響を及ぼすおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるほか、北九州市及び下関市が連携して「関門景観条例」を制定し、本条例に						って存在する自然環境として、藻場や
すおそれがあるため選定した。 事業実施想定区域及びその周囲には、 景観資源が分布している。また、当該 地域には、景観法に基づく「北九州市 景観計画」、「下関市景観計画」により 定められた景観形成誘導地域、景観重 点整備地区、関門景観形成地域がある ほか、北九州市及び下関市が連携して 「関門景観条例」を制定し、本条例に						自然海岸等が分布している。道路の存
事業実施想定区域及びその周囲には、 景観資源が分布している。また、当該 地域には、景観法に基づく「北九州市 景観計画」、「下関市景観計画」により 定められた景観形成誘導地域、景観重 点整備地区、関門景観形成地域がある ほか、北九州市及び下関市が連携して 「関門景観条例」を制定し、本条例に						在に伴い、生態系への環境影響を及ぼ
景観資源が分布している。また、当該地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」、「下関市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるほか、北九州市及び下関市が連携して「関門景観条例」を制定し、本条例に						すおそれがあるため選定した。
大と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 地域には、景観法に基づく「北九州市景観計画」により定められた景観形成誘導地域、景観重点整備地区、関門景観形成地域があるほか、北九州市及び下関市が連携して「関門景観条例」を制定し、本条例に		景観		0		事業実施想定区域及びその周囲には、
人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 一人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及で評価されるべきではである。 「関門景観条例」を制定し、本条例に						景観資源が分布している。また、当該
人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						地域には、景観法に基づく「北九州市
な触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素						景観計画」、「下関市景観計画」により
して調査、予測及 び評価されるべき 環境要素						定められた景観形成誘導地域、景観重
び評価されるべき 環境要素 「関門景観条例」を制定し、本条例に	して調査、予測及 び評価されるべき					点整備地区、関門景観形成地域がある
環境要素						ほか、北九州市及び下関市が連携して
						「関門景観条例」を制定し、本条例に
						基づき、「関門景観基本構想」が定めら
れている。道路の存在に伴い、景観へ						れている。道路の存在に伴い、景観へ
						の環境影響を及ぼすおそれがあるた
め、選定した。						

5.2 計画段階配慮事項に関する調査・予測・評価の手法

道路事業の場合、計画段階における地域特性の把握は既存資料の調査によるものであり、 詳細なルートの位置や道路構造等について検討段階であるため、必ずしも定量的な予測・評価ができるものではありません。

このため、計画段階配慮事項に関する調査・予測・評価の手法は、概ねのルートの位置や基本的な道路構造等を検討する段階における、事業計画の熟度や検討スケールに応じた環境配慮を適切に実施できる手法としました。調査は、複数案が含まれるエリア全体を広域的に調査できる既存資料に基づき、計画段階における環境配慮が必要な対象である検討対象(大気質や騒音では集落・市街地、動物であれば重要な種の生息地等)の位置・分布を把握する方法としました。把握できたものについては、表 5-2 に示すとおりです。また、予測は、環境の状況の変化を把握する方法としました。評価は、環境影響の程度を整理し、各ルート帯を比較する方法としました。

表 5-2 計画段階配慮事項に関する調査、予測、評価の手法

計画段階配慮事項	検討対象	調査手法	予測手法	評価手法
自動車の走行によ	集落・市街地等の位置	既存資料	集落・市街地等の位	回避又は通過の
る大気質	・集落・市街地**1		置と複数案との位置	状況を整理・比較
自動車の走行によ	・学校、病院その他の環境の保		関係を把握	
る騒音	全についての配慮が特に必			
	要な施設**2			
道路の存在による	重要な種の生息地等	既存資料	重要な種の生息地等	回避又は通過、分
動物	・重要な動物種*3		の位置と複数案との	断の状況を整
			位置関係を把握	理・比較
道路の存在による	重要な種・群落の生育地等	既存資料	重要な種・群落の生	回避又は通過、分
植物	・重要な植物群落**4		育地等の位置と複数	断の状況を整
	・巨樹・巨木林**5		案との位置関係を把	理・比較
	・保存樹 ^{※6}		握	
道路の存在による	生態系の保全上重要であって、	既存資料	生態系の保全上重要	回避又は通過、分
生態系	まとまって存在する自然環境		であって、まとまっ	断の状況を整
	・鳥獣保護区**7		て存在する自然環境	理・比較
	·特別緑地保全地区 ^{*8}		の位置と複数案との	
	・保安林 ^{※9}		位置関係を把握	
	• 藻場 ^{※10}			
	自然海岸^{※11}			
	・自然公園 ^{※12}			
	・生物多様性の観点から重要度			
	の高い海域**13			
道路の存在による	景観資源	既存資料	景観資源の位置と複	回避又は通過、分
景観	• 景観資源 ^{※14}		数案との位置関係を	断の状況を整
			把握	理・比較

- ※1) 集落・市街地は、都市計画図(用途地域:住居系地域)、現存植生図(市街地とされている地域)の位置情報を重ね合わせる方法により設定した。
 - 集落・市街地の既存資料:北九州広域都市計画 用途地域 GIS データ (令和元年6月、北九州市)、下関市都市計画情報システム 都市計画等の情報 (令和2年3月、下関市都市計画課計画係)、第6-7回自然環境保全基礎調査 植生調査 (平成11年~、環境省自然環境局生物多様性センター)
- ※2) 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の既存資料: 北九州市 市の施設(修正) (平成30年1月、北九州市総務企画局)、保育所等一覧(令和2年4月、北九州市子ども家庭局子ども家庭部保育課)、学校一覧(令和2年3月、北九州市教育委員会総務部総務課)、学校一覧(令和元年7月、下関市教育委員会学校教育課)、高齢者・介護に関する施設(令和2年3月、北九州市保健福祉局地域福祉部長寿社会対策課)、令和2年度教育・施設一覧(令和元年10月、下関市こども未来部幼児保育課)、保健福祉施設等名簿(2019年4月1日現在)について(令和2年3月、山口県健康福祉部厚政課)、北九州市 医療機関名簿【病院】(令和元年10月、北九州市保健福祉局)、病院一覧(平成31年4月、山口県健康福祉部医務保険課医療指導班)、国土数値情報文化施設データ(平成25年度)(令和2年3月、国土交通省国土政策局国土情報課)
- ※3) 重要な動物種は、文化財保護法(昭和25年5月30日法律第214号、最終改正:令和3年4月23日法律第22号)、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年6月5日法律第75号、最終改正:令和元年6月14日法律第37号)、山口県希少野生動植物種保護条例(平成17年3月18日山口県条例第8号、最終改正:平成17年07月12日山口県条例第52号)、環境省レッドリスト(令和2年3月、環境省)、環境省版海洋生物レッドリスト(平成29年3月、環境省)、福岡県レッドデータブック(平成23年11月・平成26年8月、福岡県)、山口県レッドリスト(平成30年3月、山口県)により重要種を把握した上で、既存資料により位置情報の記載のある種の生息地を設定した。
 - 重要な動物種の既存資料:第1回自然環境保全基礎調査 すぐれた自然調査(昭和51年、環境庁)、第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査(昭和54~56年、環境庁)、海洋状況表示システム(平成31年2月、海上保安庁)
- ※4) 重要な植物群落は、文化財保護法(昭和25年5月30日法律第214号)、植物群落レッドデータブック(平成8年、(財)日本自然保護協会)、自然環境保全基礎調査(環境省)、福岡県レッドデータブック(平成

23年11月、福岡県)、下関市環境基本計画(平成29年3月、下関市環境部環境政策課)により重要な植物群落を把握した上で、既存資料により位置情報の記載のある種の生育地を設定した。

重要な植物群落の既存資料:第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査(昭和55年、環境庁)、第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査(平成元年、環境庁)、下関市環境基本計画(平成29年3月、下関市環境部環境政策課)

- ※5) 巨樹・巨木林の既存資料:第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査(平成3年、環境庁)、第6回自 然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査(平成13年、環境省)
- ※6) 保存樹の既存資料:保存樹マップ(平成31年3月、北九州市建設局公園緑地部緑政課)
- ※7) 鳥獣保護区の既存資料:令和元年度福岡県鳥獣保護区等位置図(令和元年8月、福岡県農林水産部農山漁村振興課)、令和元年度(2019年度)山口県鳥獣保護区等概要図(令和元年11月、山口県環境生活部自然保護課)
- ※8) 特別緑地保全地区の既存資料: 令和元年度版 北九州市の環境(令和元年9月、北九州市環境局総務政策部 総務課)、地域情報ポータルサイト G-motty 都市計画図(令和2年3月、一般社団法人 G-motty)
- ※9) 保安林の既存資料:国土数値情報 森林地域データ 保安林(平成27年度)(令和2年3月、国土交通省国土政策局国土情報課)
- ※10) 藻場の既存資料:第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査 (平成7年、環境庁)
- ※11) 自然海岸の既存資料:第5回自然環境保全基礎調査 海辺調査(平成10年3月、環境庁自然保護局)
- ※12) 自然公園の既存資料: 福岡県自然公園区域図 (平成 18 年 3 月、福岡県)、北九州国定公園 (平成 30 年 10 月、福岡県環境部自然環境課自然公園係)
- ※13) 生物多様性の観点から重要度の高い海域の既存資料:生物多様性の観点から重要度の高い海域(令和2年3月、環境省自然環境局自然環境計画課)
- ※14) 景観資源の既存資料: 福岡県自然公園区域図 (平成 18 年 3 月、福岡県)、北九州国定公園 (平成 30 年 10 月、福岡県環境部自然環境課自然公園係)、関門景観基本構想 (平成 14 年 4 月、下関市・北九州市)

5.3 計画段階配慮事項に関する調査・予測・評価の結果

計画段階配慮事項に関する調査は、既存資料に基づき表 5-2 の「検討対象」の位置・分布を把握し、図 5-1 に調査の結果として記載しました。予測では、表 5-3 に回避等の状況を記載し、環境の状況の変化を把握しました。

選定された計画段階配慮事項の各ルート帯における影響の程度は、表 5-3 に示すとおりです。

道路の存在による動物、植物、景観の環境要素について、各ルート帯の影響は同程度であると評価します。

自動車の走行による大気質、騒音の環境要素について、いずれのルート帯においても影響を与える可能性があります。ただし、案①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価します。

道路の存在による生態系の環境要素については、いずれのルート帯においても影響を与える可能性があります。ただし、案②別線案(集落・市街地回避ルート)及び案③別線案(海峡渡河幅最小ルート)は、案①別線案(臨海部迂回ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価します。

今後、具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階では、できる限り集落・市街地等、 重要な種の生息地等、重要な種・群落の生育地等、生態系の保全上重要であって、まとまっ て存在する自然環境、景観資源への影響の回避・低減に取り組みます。

なお、各検討対象について、回避が困難又は、必ずしも十分に低減されないおそれのある 場合には、今後の環境影響評価の中で調査・予測・評価を行い、必要に応じて適切な環境保 全措置を検討します。

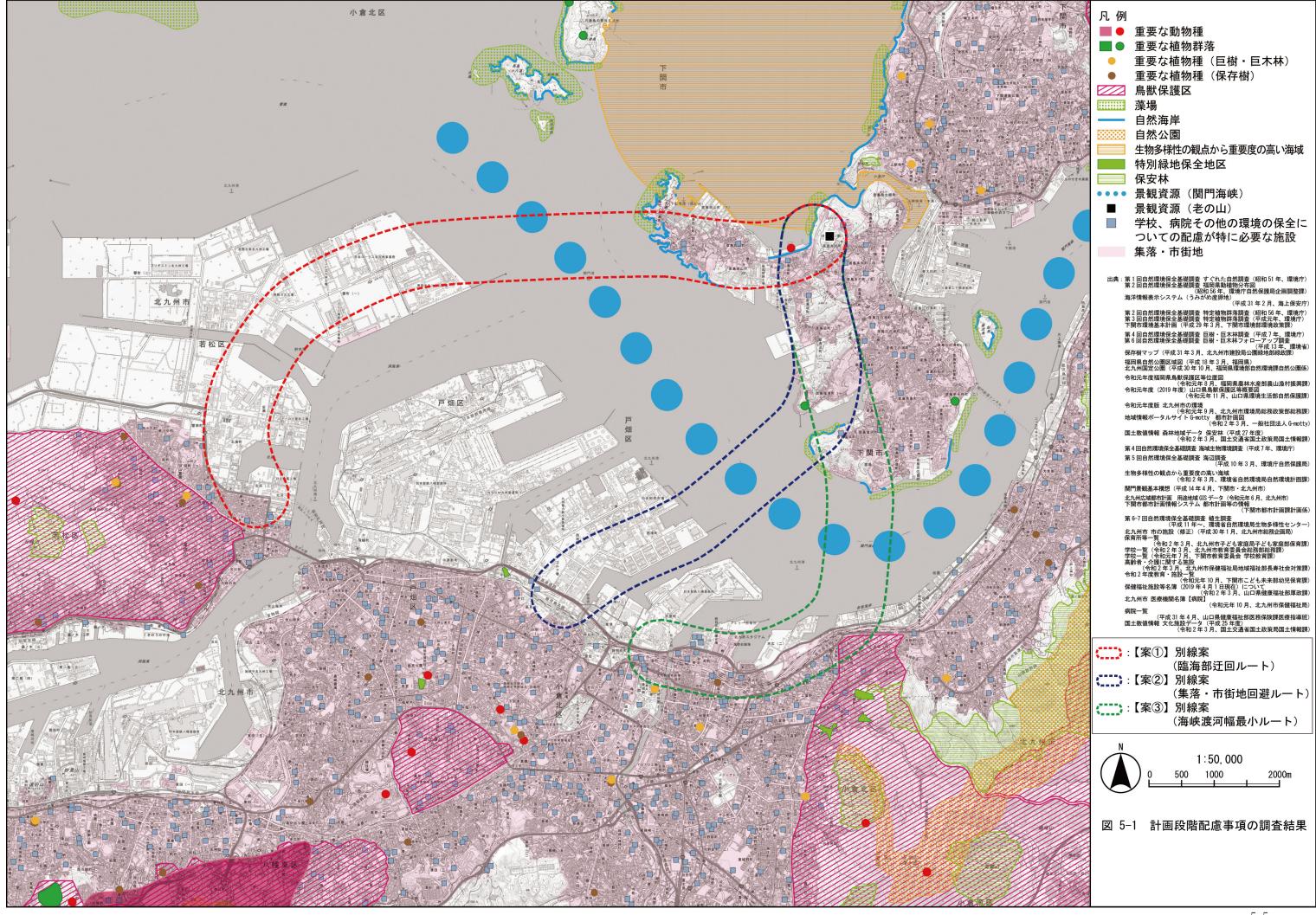


表 5-3(1) 計画段階配慮事項に係る予測・評価の結果

計画設階 配適事項 (集帝) 別線案 (集落・市街地回遊ルート) ルート帯は、集落・市街地 (集落・市街地 等を通過するため、大気質・ (事を通過するため、大気質・ (事を通過するため、大気質・ 所がある。 ただし、今後の具体的なか ート位置や道路構造を決定 する段階において、集落・市街地等をできる限り回避し たルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等を通過するため、大気質・ (本たルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、東落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過当なため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。							
自動車の走行による大気質 特を通過するため、大気質・騒音に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルート位置や道路構造を決定する段階において、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するため、集落・市街地等を通過するといた。 集落・市街地等をできる限り回避したルート帯に、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能であるとめ、各ルート帯の影響は同程度であると評		【案①】別線案					
「主な大気質 等を通過するため、大気質・ 等を通過するため、大気質・ 日前車の走行 「版	配慮事項	(臨海部迂回ルート)	(集落・市街地回避ルート)	(海峡渡河幅最小ルート)			
自動車の走行による騒音	自動車の走行	ルート帯は、集落・市街地	ルート帯は、集落・市街地	ルート帯は、集落・市街地			
がある。 ただし、今後の具体的なルート位置や道路構造を決定する段階において、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 道路の存在による動物 道路の存在による動物 道路の存在による動物 道路の存在による動物 道路の存在による動物 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	による大気質	等を通過するため、大気質・	等を通過するため、大気質・	等を通過するため、大気質・			
ただし、今後の具体的なルート位置や道路構造を決定する段階において、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ※①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ※①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ表により、影響低減が可能である。 ※①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ表にいて、集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ表にいて、第二の程度は他のルートに比べまいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能である。かずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能である。といずれのルート等を機対することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を検討である。	自動車の走行	騒音に影響を与える可能性	騒音に影響を与える可能性	騒音に影響を与える可能性			
一ト位置や道路構造を決定する段階において、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。	による騒音	がある。	がある。	がある。			
する段階において、集落・市 街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 なお、集落・市街地等が多く分布するルート帯である。 なお、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルートとに比べたさいと考えられる。 なお、集落・市街地等が多く分布するルートとは、大きいと考えられる。 なお、集落・市街地等が多く分布するルートに比べたさいと考えられる。 なお、集落・市街地等が多く分布するルートドである。 なお、集落・市街地等が多く分布するルートドは、既存資料により、計細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 にである。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 にである。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 にである。		ただし、今後の具体的なル	ただし、今後の具体的なル	ただし、今後の具体的なル			
街地等をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ※①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 道路の存在による動物 道路の存在による動物 がお、集落・市街地回避ルート)は、案③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段別に対したが表した。 「はである。」にである。 「は一様をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。」にである。		ート位置や道路構造を決定	ート位置や道路構造を決定	ート位置や道路構造を決定			
たルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 により、影響低減が可能である。 ない、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地回避ルート)は、案 ③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細なな位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		する段階において、集落・市	する段階において、集落・市	する段階において、集落・市			
により、影響低減が可能である。		街地等をできる限り回避し	街地等をできる限り回避し	街地等をできる限り回避し			
る。 る。 なお、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ大きいと考えられる。 案①別線案(海峡渡河幅最小ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案 ③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見場地をできる限りをする段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見場せをできる限りをする段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見場せをできる限りをする段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見速を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見速をできる限りを対象を表しまする段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見速を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を担まると変がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細なをできる限りを対象を表しまるとにより、影響低減が可能である。 いずれのルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		たルート等を検討すること	たルート等を検討すること	たルート等を検討すること			
なお、集落・市街地等が多く分布するルート帯であるため、集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ大きいと考えられる。		により、影響低減が可能であ	により、影響低減が可能であ	により、影響低減が可能であ			
大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと考えられる。 大きいと書えられる。 大きいと評価する。 大きいと評価する。 大きいと書に関する。 大きいと評価する。 大きいと評価する。 大きいと書に関する。 大きいと評価する。 大き細な位置が特定できた 重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 大きいと表できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 大きいと、今後の具体的ないートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 大きいと言とにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		る。	る。	る。			
大め、集落・市街地等を通過する程度は他のルートに比べ大きいと考えられる。 案①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な存置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限りを関係において、詳細な存置が特定できた重要な動物を重要な動物を重要な動物を表した。まずる段階において、詳細な存置が特定できた重要な動物を表した。まずる段階において、詳細な存置が特定できる。まずる段階において、詳細な存置が特定できる。まずるとにより、影響低減が可能である。				なお、集落・市街地等が多			
東①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案 ③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を開発したルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を関係したルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を関係したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細なながである。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定がある。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決容を検討することにより、影響低減が可能である。				く分布するルート帯である			
変①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案 ③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた 重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を見地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物を担まれて、詳細な位置が特定できた重要な動物を重要な動物を重要な動物を重要な動物を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要な動物を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を				ため、集落・市街地等を通過			
案①別線案(臨海部迂回ルート)及び案②別線案(集落・市街地回避ルート)は、案 ③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。 道路の存在に ルート帯は、既存資料によ り詳細な位置が特定できた り詳細な位置が特定できた 重要な動物種の生息地を通 過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な 位置が特定できた重要な動物種の生息地をできた 変する段階において、詳細な 位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な 位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評				する程度は他のルートに比			
道路の存在による動物 ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 にずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決ないで、影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評				べ大きいと考えられる。			
道路の存在による動物 「ルート帯は、既存資料により詳細な位置が特定できた」を要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定であると評略において、影響は減が可能であるとおの影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細なな位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。		案①別線案(臨海部迂回ル	ート)及び案②別線案(集落	・市街地回避ルート)は、案			
り詳細な位置が特定できた 重要な動物種の生息地を通 過するため、動物に影響を与 える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決 定する段階において、詳細な 位置が特定できた重要な動 物種の生息地をできる限り 回避したルート等を検討す ることにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決 をすると評 をすると評 の影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決 にである。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決 をする段的において、詳細な 位置が特定できた重要な動 物種の生息地をできる限り 回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。		③別線案(海峡渡河幅最小ルート)に比べ環境影響の程度は小さいと評価する。					
重要な動物種の生息地を通過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評							
過するため、動物に影響を与える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する及びにおいて、詳細ななが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細ななができた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。	よる動物	り詳細な位置が特定できた	り詳細な位置が特定できた	り詳細な位置が特定できた			
える可能性がある。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		重要な動物種の生息地を通	重要な動物種の生息地を通	重要な動物種の生息地を通			
ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 ただし、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評							
ートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、詳細な位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		える可能性がある。	える可能性がある。	える可能性がある。			
定する段階において、詳細な 位置が特定できた重要な動 物種の生息地をできる限り 回避したルート等を検討す ることにより、影響低減が可 能である。		ただし、今後の具体的なル	ただし、今後の具体的なル	ただし、今後の具体的なル			
位置が特定できた重要な動物種の生息地をできる限り物種の生息地をできる限り回避したルート等を検討することにより、影響低減が可能である。 いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		ートの位置や道路構造を決	ートの位置や道路構造を決	ートの位置や道路構造を決			
物種の生息地をできる限り 回避したルート等を検討す ることにより、影響低減が可 能である。		定する段階において、詳細な	定する段階において、詳細な				
回避したルート等を検討す 回避したルート等を検討することにより、影響低減が可 ることにより、影響低減が可		位置が特定できた重要な動	位置が特定できた重要な動	位置が特定できた重要な動			
ることにより、影響低減が可 ることにより、影響低減が可		物種の生息地をできる限り	物種の生息地をできる限り	物種の生息地をできる限り			
能である。 能である。 能である。		回避したルート等を検討す	回避したルート等を検討す	回避したルート等を検討す			
いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道 路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評		ることにより、影響低減が可	ることにより、影響低減が可	ることにより、影響低減が可			
路構造の検討により影響低減が可能であるため、各ルート帯の影響は同程度であると評			I.	1			
		いずれのルート帯も環境への影響が懸念されるが、今後の具体的なルートの位置や道					
価する。							
		価する。					

表 5-3(2) 計画段階配慮事項に係る予測・評価の結果

計画段階	【案①】別線案	【案②】別線案	【案③】別線案
配慮事項	(臨海部迂回ルート)	(集落・市街地回避ルート)	(海峡渡河幅最小ルート)
道路の存在に	ルート帯は、既存資料によ		ルート帯は、既存資料によ
よる植物	り詳細な位置が特定できた	り詳細な位置が特定できた	り詳細な位置が特定できた
よる他物	重要な種・群落の生育地等を	重要な植物群落を通過する	重要な植物種 (保存樹) を通
	重要な性・肝格の生育地等を 回避する。	重要な個物群格を囲過する ため、植物に影響を与える可	過するため、植物に影響を与
	回避りる。	能性がある。	える可能性がある。
		ただし、今後の具体的なル	
			ートの位置や道路構造を決
		定する段階において、詳細な	
		位置が特定できた重要な植	位置が特定できた重要な植
		物群落をできる限り回避し	物種(保存樹)をできる限り
		たルート等を検討すること	回避したルート等を検討す
		により、影響低減が可能であ	ることにより、影響低減が可
		る。	能である。
	案②別線案(集落・市街地	回避ルート)及び案③別線案	(海峡渡河幅最小ルート) は
	今後の具体的なルートの位置	や道路構造の検討により重要	な種・群落の生育地等を回避
	する検討が可能である。そ <i>の</i>	ため、各ルート帯の影響は同	程度であると評価する。
道路の存在に	ルート帯は、生態系の保全	ルート帯は、生態系の保全	ルート帯は、生態系の保全
よる生態系	上重要であって、まとまって	上重要であって、まとまって	上重要であって、まとまって
	存在する自然環境の藻場、自	存在する自然環境の藻場、自	存在する自然環境の鳥獣保
	然海岸、生物多様性の観点か	然海岸、生物多様性の観点か	護区、藻場、自然海岸、生物
	ら重要度の高い海域を通過	ら重要度の高い海域を通過	多様性の観点から重要度の
	するため、生態系に影響を与	するため、生態系に影響を与	高い海域を通過するため、生
	える可能性がある。	える可能性がある。	態系に影響を与える可能性
	ただし、今後の具体的なル	ただし、今後の具体的なル	がある。
	ートの位置や道路構造を決	ートの位置や道路構造を決	ただし、今後の具体的なル
	定する段階において、生態系	定する段階において、生態系	ートの位置や道路構造を決
	の保全上重要であって、まと	の保全上重要であって、まと	定する段階において、生態系
	まって存在する自然環境を	まって存在する自然環境を	の保全上重要であって、まと
	できる限り回避したルート	できる限り回避したルート	まって存在する自然環境を
	等を検討することにより、影響低減が可能である。	等を検討することにより、影響低減が可能である。	できる限り回避したルート等を検討することにより、影
	なお、自然海岸がルート帯		響低減が可能である。
	の範囲に広く分布し、その一		音区域が可能である。
	部を改変する可能性がある		
	ため、生態系の保全上重要で		
	あって、まとまって存在する		
	自然環境を通過する程度は		
	他のルートに比べ大きいと		
	考えられる。		
		回避ルート)及び案③別線案	(海峡渡河幅最小ルート) は、
		-ト)に比べ環境影響の程度は	
道路の存在に		ルート帯は、景観資源(関	
よる景観		門海峡、老の山) を通過する	
		ため、景観に影響を与える可	
	能性がある。	能性がある。	能性がある。
	いずれのルート帯も環境へ	の影響が懸念されることから	、各ルート帯の影響は同程度
	であると評価する。		